

学習課題（小学校 6 年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

<内容>

◆「時計の時間と心の時間」（教科書 48～53 ページ）に取り組めます。

- (1) 48～53 ページを声に出して読みます。
- (2) この説明文は、8つの段落に分かれています。一文字下がっているところを探しながら、教科書に段落番号を書きましょう。
- (3) 筆者はどのような時間を「時計の時間」「心の時間」とよんでいますか。2段落を読んで考え、例のようにノートや取組シートに書きましょう。

※54 ページ下段の〈**言葉に着目する**〉を読みましょう。

【書き方の例】

- ・「時計の時間」とは、・・・・・・・・時間のことです。
- ・「心の時間」とは、・・・・・・・・時間のことです。

(4) 「笑うから楽しい」の学習を思い出しながら、次の①・②について考え、ノートや取組シートに書きます。

① 1段落と 8段落に、筆者の考えが書かれています。2つの段落を比べて読み、『筆者が特に伝えたい考え（主張）』を探して教科書に線を引きましょう。

【②の書き方の例】

②筆者は、「心の時間」の特性について、3・4・5・6段落で事例を挙げています。どのような事例なのか、それぞれの段落を読み、『「心の時間」は、』という書き出しで始まる短い文に表して書きましょう。

6	5	4	3	時計の時間と心の時間
		例 「心の時間」は、	例 「心の時間」は、その人がその時に行っていること、どう感じているかによって、進み方が変わるといった例	

※説明文では、それぞれの段落の初めに、その段落でどのようなことを説明するのかを伝えています。特に、②では最初の文章に注目してみましょう。

◆「時計の時間と心の時間」で学習する予定の新出漢字（「簡」～「疑」）を練習します。（読み方や書き順などは、299 ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント>

- ・(4)の①では、「笑うから楽しい」の学習を振り返り、「～のです。」といった『筆者の考えを示す文末表現』に注目したり、同じようなことを述べている文章に着目したり出来るよう、声掛けをお願いします。